

令和4年8月22日

## 胴 割 米 発 生 注 意 報

福井県水田農業レベルアップ委員会

コシヒカリは、根の量が少なく、出穂期以降、高温が続いており、胴割米の発生が懸念される。今後は、間断通水など十分な水管理・適期収穫・丁寧な乾燥作業を徹底する。

### 胴割米発生防止対策について

- 1) 収穫直前まで間断通水を徹底し、早期落水は控える。
- 2) 台風等により、フェーンが発生する可能性がある場合は、深水管理を行い、フェーンが収束するまで継続する。
- 3) 籾水分25%よりやや早めに収穫を開始し、刈り遅れ防止を徹底する。  
(ただし、農薬の使用基準(使用時期:収穫何日前まで)を厳守する)
- 4) 収穫後はすみやかに乾燥機に張り込む。また、高温乾燥を避け水分が18%程度となったら乾燥を一時休止し調湿させ、仕上げ乾燥を行う。
- 5) 乾燥は14.5%~15.5%を目標水分とし、こまめに穀類水分計で水分チェックを行う。
- 6) 乾燥調製後の玄米が、運搬や検査時に、直接日が当たらないよう注意する。

※籾水分の状況については、福井県 HP 稲作情報

「水稻登熟調査」(水、金:週2回配信)を参考にする。



稲作情報 QR コード

※あきさかり、いちほまれ等中生以降の品種についても、間断通水など十分な水管理の継続や適期収穫、丁寧な乾燥に努める。

### その他品質向上に向けた取組について

- 1) 斑点米カメムシ類が多い圃場については、農薬の使用基準(使用回数、収穫前日数)を遵守し、収穫14~7日前に仕上げ防除を行う。
- 2) 大雨の影響による給水制限等による水不足や低日射により、白未熟粒の発生が多い場合は、色彩選別機等による選別を強化する